

教えて!

図書館への想い

9月の意見交換会では「年齢や障がいの有無に関わらず読書やコミュニケーションを楽しめる」「市内散策の核となり小松に来たくなる施設」など、様々な意見が出ました。

北國とおり町にぎわい協議会
中出 暁史さん



明るくてゆったり過ごせる空間で、誰もが平等に知識を得られて、みんなが行きたくなる図書館を期待しています。新しい図書館でも盛り上げていきます。みんな来てね!



左から紙芝居倶楽部 池田さん、お話の会 中野さん、サンタママ 河合さん

アンケートなどを通して、様々なご意見をいただきました。「また来たい!」と思ってもらえるよう、私たちも日々イメージアップ・スキルアップに努めています。



図書館 司書
向江 薫さん

みんなで語ろう! 意見交換会



市民の皆さんと一緒に考える機会として、各種団体との意見交換会を随時実施しています。参加者からは「家族や地域の人の幸せにつながる居場所づくり」や「図書館づくりだけでなく、図書館を核にした元気なまちづくり」、「自分事として、自らが図書館運営に参画する場づくり」など、皆さんの熱い想いや期待する声を数多くいただいています。ぜひ皆さんも図書館までお申し込みください。



もっと学ぼう! ワークショップ



まちライブラリー
提唱者
磯井 純充さん

カフェやオフィスなど様々な場所で本を通じたつながりの場となる「まちライブラリー」。磯井純充さんの取り組みを学び、その魅力と活用策について考えます。

とき 2月20日(日) 13時30分~15時30分

ところ 第一地区コミュニティセンター

定員 50人(先着順) 参加費 無料

申し込み 2月13日(日)までに電話、FAX、メール

申込先 図書館 ☎24・5311 ☎22・9763

✉ toshokan@city.komatsu.lg.jp

みんなで描こう! 子供たちの絵画募集



子供たちの夢や希望と共に、未来型図書館づくりへ想像力を広げるため、未来の図書館をテーマに絵画を募集しています。

対象 市内の園児及び小・中学生

規格 大きさ、画材は自由

応募方法 1月14日(金)までに図書館、南部図書館、空とこども絵本館、生涯学習課のいずれかへ持参または郵送



「私たちのトキメキ図書館☆」
通次くるみさん

みんなの声を紹介します! アンケート結果

求められる機能やサービス、望ましい立地場所などについての市民アンケートを9月~10月に行い、高校生や大学生を中心に、幅広い世代から1,500を超える回答をいただきました。

寄せられた声

- 閲覧・学習・会話・飲食エリアの充実
- 市内のどこからも通いやすい立地
- 市民の知識を広げる知の宝庫の場に など

詳しくは市ホームページから▲



みんなの願いを形にする未来型図書館づくりはまだ始まったばかり。今後も皆さんと共に進めていきます。

イベントや取り組みなどの情報は市ホームページをご覧ください。

特集

みんなで創る未来型図書館

幅広い世代から注目を集めている「未来型図書館」。昨年からのスタートした取り組みについてご紹介します。

問い合わせ 図書館 ☎24・5311

みなで創るをモットーに
あなたが描くこれからの図書館はどのようなものですか? 未来型図書館を創るのはこのまちに暮らす私たち一人ひとりで。子供から大人まで、みんなの人生を豊かにする図書館づくりを目指していきます。

市では「生涯暮らし続けられるまち」を目指した取り組みの一環として、昨年からの未来型図書館のあり方について調査研究を進めています。昨年実施したアンケートや各種団体との意見交換会では、みんなの居場所としての役割や、人と人が交流し新しいアイデアやコミュニティが生まれる拠点としての役割を望む声も多く、その実現により、一人ひとり、そして地域やまち全体が元気になっていくことが期待されます。

未来型図書館への取り組み

近年、図書館は市民の価値観やライフスタイルの多様化により、読書や学習に加え、誰もが気軽に立ち寄ることができ、出会い交流する場・憩いの場として、その役割が広がっています。

広がる図書館の役割

専門家に学ぶ! 全国の図書館

9月に開催した第1回講演会では、株式会社マナビノタネ代表取締役の森田秀之さんが「いきいきと生きるための図書館」をテーマに講演しました。

また、12月には図書館と地域をむすぶ協議会チーフディレクターの太田剛さんを迎え、第2回講演会を開催。「図書館で地域が変わる、未来を拓く」をテーマに、先進事例を交えながら、新しい時代の図書館像などについて学びました。

皆さんと講演会で学んだことを今後の取り組みにつなげていきます。



雲の上の図書館 (高知県梶原町)

隈研吾氏の設計。カフェコーナー併設で、地元の木材がふんだんに使用され、木の感触や香りでもつろげる空間。



ぶん文Bun (宮崎県椎葉村)

交流ラウンジやキッズスペースなどを備えた複合施設内にあり、おしゃべりも飲み物も床に寝転ぶのも自由。

参加者の声

- 自分がこれまで抱いていた図書館の概念が大きく覆されました。
- 図書館の持つ役割の視野が広がりました。

これからの図書館は、過去と未来をむすび、ヒト・モノ・コトをむすび、新しい持続可能な地域づくりの拠点として注目されます。人材を育て、雇用を創り、地域経済を循環させる社会変革が巻き起こっていくことを期待しています。



図書館と地域をむすぶ協議会チーフディレクター 太田 剛さん

太田さんが携わった図書館